

6 市内全域での通学区域の変更

2040年度までに、学校統合を含めた新たな通学区域の実現を目指しています。

お住まいの住所から通う小・中学校を必ず確認してください

子どもたちの人間関係の形成や多様な考え方に触れながら学び合う機会を確保するためには、一定数以上の学級が必要です。町田市では、1学年あたりの望ましい学級数を、小学校が「3～4学級」、中学校が「4～6学級」としました。この望ましい学級数の実現を目指し、小学校では

2025年度以降に、中学校では2027年度以降に順次通学区域を変更します。

通学区域が変わるタイミングは学校統合時や新校舎建設時だけではなく、お住まいの地区では学校統合や単独建替えの時期が遠くても、周辺の学校統合などの影響で通学区域が変わることがあります。

「まちだ子育てサイト」では、お住まいの住所で通学区域の変更を確認できます。必ず確認してください。

市内全域で、学校統合がある・なしに関わらず通学区域が変わります!!

お住まいの住所の通学区域は「まちだ子育てサイト」からご確認ください

検索方法

- 右の二次元バーコードを読み取る
<https://kosodate-machida.tokyo.jp/mokuteki/7/nyuugaku/kuiki/index.html>
- 「町田市 子育てサイト」で検索
トップページ/目的からさがす/小・中学校情報/通学・入学・転校/市立小・中学校の通学区域(学区)



統合しない学校も通学区域が変わります

学校の建替え等のタイミングで通学区域が変わることがあります。例えば、B小学校の新校舎使用開始のタイミングで、A学区の一部が、B学区に変わり、B学区の一部がC学区になります。

新しい校舎になるときに通学区域が変わることもあるよ。



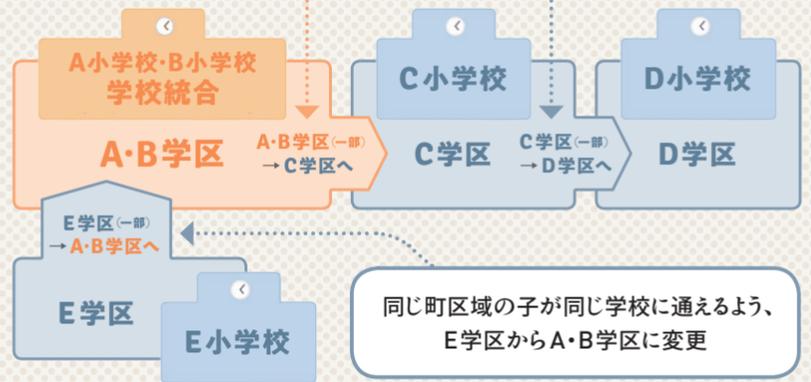
統合ではありませんが、学区の一部を変更

通学区域変更のタイミングに注意

お住まいの地区では学校統合や単独建替えの時期が遠くても、周辺の学校統合などの影響で通学区域が変わることがあります。例えば、A小学校とB小学校の統合時に、A・B学区の一部がC学区に変わります。そのタイミングで、C学区の一部が、D学区に変わります。また、E学区の一部がA・B学区になります。

A小とB小の統合のタイミングで、一部の学区を変更

A小とB小の統合と同時にC小の一部学区をD小に変更



同じ町区域の子が同じ学校に通えるよう、E学区からA・B学区に変更

中学校も通学区域が変わります

2023年度は、薬師中学校・金井中学校の統合と、小山田小学校・小山田南小学校の統合に向けて、保護者や地域住民を対象に、意見交換会を実施していきます。

中学校も薬師中学校・金井中学校の統合を皮切りに、通学区域の変更が始まります。小学校だけでなく、中学校の通学区域に変更がないか必ず確認してください。

パターンがいくつかあるんだね。どこの学校になるかな。



薬師中学校・金井中学校の学校統合に伴う通学区域の変更例

中学校名	2022年度 (現在の学区)	2027年度 (薬師中と金井中 想定統合年度)
薬師中学校	● 金井1丁目 ● 金井町 ● 野津田町 ● 藤の台1-3丁目 ● 本町田 ● 山崎町 ● 薬師台1-3丁目	● 金井1-8丁目 ● 金井ヶ丘1-5丁目 ● 薬師台1-3丁目 ● 野津田町 ● 金井町
金井中学校	● 金井2-8丁目 ● 金井ヶ丘1-5丁目 ● 玉川学園4-5丁目 ● 藤の台2丁目 ● 本町田	※薬師中学校と金井中学校の統合の影響で学区が変わる近隣の中学校です。 ▶ 町田第一中学校 ▶ 町田第三中学校 ▶ 南大谷中学校 ▶ 山崎中学校 ▶ 木曽中学校

通学区域を変更するときの基本的な考え方

通学区域については、原則として以下の考え方に沿って変更していきます。

- 望ましい学級数の実現
小学校:1学年あたり3～4学級
中学校:1学年あたり4～6学級
- 小学校と中学校区の整合
1つの小学校から複数の中学校にわかれなく
- 町区域と通学区域の整合
例:森野2丁目、本町田など
- 通学の許容範囲
通学時間おおむね30分程度
徒歩でおおむね2km程度

【お問合せ先】 町田市教育委員会学校教育部

- 学校統合に関すること 新たな学校づくり推進課 ☎042-785-5471
- 通学区域の変更・通学路の安全対策に関すること 学務課 ☎042-724-2176

まちだの新たな学校づくりに関するお知らせ (町田市ホームページ)

推進計画などの資料は、町田市HPにも掲載しています。右の二次元バーコードからアクセスすることができます。

